
人から人へ

めくじら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人から人へ

【Nコード】

N 8 6 7 7 A

【作者名】

めくじら

【あらすじ】

伝えることは難しいとよく感じます。短い文です。

駅のホームで1人、寒さから身を守るようにうずくまる。身なりは整っている。どうやら女性のようだ。

そこに通りがかる男女数名。その中の誰かが彼女に気づいて声をもらす。

彼女は乱れた髪を揺らし、顔を上げた。目の前に自分をあざ笑う男女数名。彼女は綺麗に笑い返した。

人間は伝達に言葉を必要とする。思っているだけでは伝わらない。努力していくという言葉に意思は伴わない。言葉なんかいくらでも出てくるんだ。

感謝しているなら、ただそれを口にするのではなく、体現しなければ意味はない。

行動しても相手に自分の本当の気持ちが届くことは稀だ。

それなら、相手（不特定多数）は私の何を知る？ 一体何がわかる？ 所詮、人間が知れる限界は自分止まりじゃないか。

それでも伝えたくて話す。相手がその半分も理解出来なくていても。

時には不安で。

愛に飢え、彼氏の包容力にしがみつき。傲慢に彼女の額にキスを
して。

結果、残るものが何なのかを確かめたい。

そうして生きて、今があつて、これからがある（たぶん）。

やがて気づく自分の気持ちに不満があつても素直に受けとめ、私
の震える肩を自らの両手で優しく支える。

それを見る他人にキツイ言葉を投げかけられたとき、こんなもの
か、とケラケラ笑った。

（後書き）

有難う御座いました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8677a/>

人から人へ

2010年11月8日08時54分発行